

日時	平成26年8月10日	9:30	試合形式	60-10-PK	会場名	葦崎中央公園陸上競技場										
天候	雨	気温	24	湿度	63%	風	弱風	ピッチ状態	観衆数							
主審	里吉 雄介	副審1	内藤 共哉	副審2	椎名 佑樹	芝	良	表面	不良	300人						
神奈川県 第1代表								埼玉県 第2代表								
桐蔭学園中学校	0	前半	0	後半	1	延長前	1	延長後	2	さいたま市立 尾間木中学校						
Kick off	PK							Kick off								
交代	OUT時間	シュート	得点	先発	選手名	番号	位置	選手名	先発	得点	シュート	OUT時間	交代			
No.	Rin	後	前	計						計	前	後	No.	Rin	代	
					津下 純也	1	GK	木村 勇士								
					新谷 有輝	2	MF	矢形 祐太								
					大池 竜慈	3	DF	徳田 一輝								
					新谷 卓也	4	MF	高橋 夕日		1	*					
					千葉 恭馬	5	FW	藤森 圭太								
					森山 翔介	6	DF	大森 悠平								
			xx	2	眞田 勲良	7	MF	益子 雄冴						57	in	
					新川 涼	8	MF	黒川 拓海								
	44				谷川 滉介	9	FW	上田 七海		2	4	*	*			
					岩坂 公陽	10	MF	橋本 拓磨								
					依田 興汰郎	11	DF	佐藤 晃太郎						54	19	
	31				高畠 悠史	12	MF	徳原 知								
			xx	2	鳥山 歩生	13	MF	新井 英博								
	31		*		市村 圭吾	14	MF	船越 大地		1	*					
	44		*		高平 賢正	15	FW	竹内 滉貴						54	in	
	9		*		生島 嘉威斗	16	GK	細田 翔太						57	7	
			*		目黒 雄大	17	MF	高橋 航大								
					田中 瑛史	18	FW	吉岡 壱晟								
警告・退場					監督			監督			警告・退場					
分					松田 隆			神立 朋次			分					
分					後 前			前 後			分					
分					半 半			半 半			分					
分					3 5 8			6 4 2			分					
分					1 3 4			13 8 5			分					
分					3 2 5			2 1 1			分					
分					8 5 13			0 0 0			分					
分					0 0 0			1 1 0			分					
分					0 1 1			0 0 0			分					
分					0 0 0			0 0 0			分					
得点時間	得点チーム	NO	得点者		スコア		得点経過 例：ドリブル コロパス 浮き球パス *：混戦 S：シュート H：ヘディング									
4	尾間木中学校	9	上田 七海		0 - 1		中10	中9S								
45	尾間木中学校	9	上田 七海		0 - 2		左	中9S								
PK戦の経過																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		先														
		後														
[試合時間]		前半	9:30	(10:00)		後半	10:10	(10:43)		試合所要時間 1:13						
[戦評]		記入者：津金 直樹				所属：山梨県										

ゲーム開始から、桐蔭中はサイドのスペースへのロングボールでゴールを目指す。一方の尾間木中は細かいパスをつなぎながら攻撃をしかける展開でゲームが進んでいく。先手をとったのは尾間木中、4分 が中央をドリブルし ヘパスし、ドリブルからのシュートで先取点を挙げる。その後も、中盤の粘り強い守備と、スペースを活用しながら丁寧なパスをつないで度々がチャンスをつくるが決めきれない。27分に桐蔭中も波状攻撃から がシュートを打つもキーパーの正面をつきゴールを奪えないまま前半が終了した。後半、桐蔭中は を投入しリズムを変えようとする。前半同様ロングボールからチャンスをつくり、 のコーナーキックから がタイミングよくヘディングシュートを打つも枠をとらえることができない。さらに がクロスを入れるが尾間木中が粘り強く対応する。そして44分、尾間木中が左からのクロスが落ちていて決め追加点を挙げる。桐蔭中も反撃を試みるが尾間木中 を中心に粘り強くはね返しタイムアップとなった。両チームとも、攻守の切り替えが速く好ゲームとなったが、桐蔭中のプレスを速いテンポで交わしながら丁寧にゴールをねらい続けた尾間木中が、決勝へ進出した。

競技運営
責任者

主審